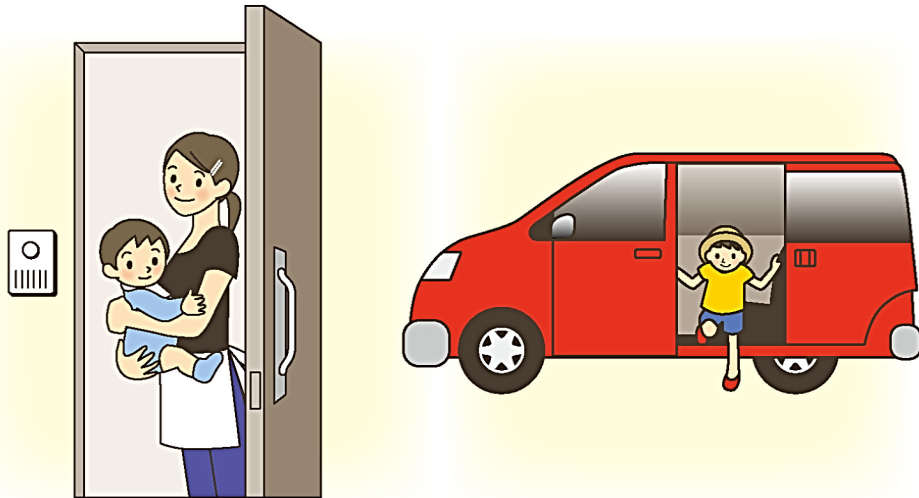




はさまれる

1 こんな時、どのような事故が起きるか想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



事故予防のためのチェックリスト

- ドアを閉める際、子どもが手を伸ばしていないか確認していますか。
- 車のドアは周りを見てから閉めていますか。

事故例



ドアが閉まる際に
子どもの手のはさまれる



車のドアが閉まる際に
子どもの手のはさまれる

— 「はさまれる」は大人と乳幼児で多く発生しています。 —

2 主な事故 (実際にあった事例です)

高齢者 ○店舗の自動ドアにはさまれ、胸をケガ



大人

- 電車とホームの間に足がはさまれ、膝を脱臼
- プレス機に手をはさまれ、手をケガ
- フォークリフトが下がってきて電柱との間にはさまれ、腰の骨を骨折



子ども ○ドアに手をはさまれ、指をケガ

乳幼児

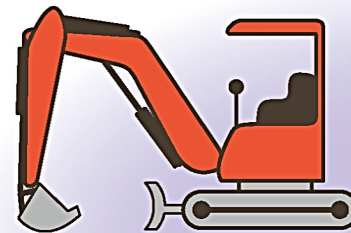
- エレベーターのドアが開いた時に、戸袋に手をはさまれ、指をケガ
- タンスが倒れ下敷きになり、頭をケガ
- 母親がドアを閉めた際に、指をはさまれてケガ



3 事故予防対策

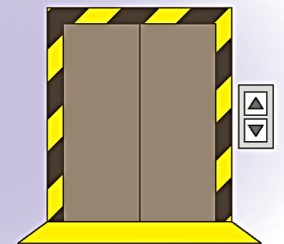
機械にはさまれると重症化

操作方法を知らない人は使用しないことはもちろん、重機等には近寄らないようにしましょう。



周囲の方が注意

ドアの開閉時に子どもがどこにいるのかよく確認しましょう。



小さな子どもの事故は、ドアによるものが多く発生しています。ドアの隙間を保護する製品もありますので、取り付けるのもよいでしょう。

